

JAEA-Review 2007-044

東海再処理施設周辺の環境放射線モニタリング結果

－2006 年度－

List of errata

正誤表

	Error	Correct																																																						
p.11	<p>4.1.2 液体廃棄物の放出に起因する実効線量</p> <p>2006年度1年間の液体廃棄物の放出量（付録F参照）を基に海産物摂取に伴う内部被ばくによる実効線量を算出した結果、<u>$7.0 \times 10^{-6} \text{mSv/y}$</u>であった。また、漁業・海浜利用に起因する外部被ばくによる実効線量は、$2.0 \times 10^{-6} \text{mSv/y}$であった。</p> <p>従って、液体廃棄物の放出に起因する実効線量は <u>$9.1 \times 10^{-6} \text{mSv/y}$</u>であった。</p> <p>4.1.3 算出結果のまとめ</p> <p>気体廃棄物に起因する実効線量 ($3.0 \times 10^{-4} \text{mSv/y}$) 及び液体廃棄物に起因する実効線量 (<u>$9.1 \times 10^{-6} \text{mSv/y}$</u>) の両者の合算値は、$3.1 \times 10^{-4} \text{mSv/y}$ であり、我が国の法令^{注)}に定める周辺監視区域外の実効線量限度 (1mSv/y) の約 0.03%であった。経路ごとの算出結果を表-1に示す。</p>	<p>4.1.2 液体廃棄物の放出に起因する実効線量</p> <p>2006年度1年間の液体廃棄物の放出量（付録F参照）を基に海産物摂取に伴う内部被ばくによる実効線量を算出した結果、<u>$7.5 \times 10^{-6} \text{mSv/y}$</u>であった。また、漁業・海浜利用に起因する外部被ばくによる実効線量は、$2.0 \times 10^{-6} \text{mSv/y}$であった。</p> <p>従って、液体廃棄物の放出に起因する実効線量は <u>$9.5 \times 10^{-6} \text{mSv/y}$</u>であった。</p> <p>4.1.3 算出結果のまとめ</p> <p>気体廃棄物に起因する実効線量 ($3.0 \times 10^{-4} \text{mSv/y}$) 及び液体廃棄物に起因する実効線量 (<u>$9.5 \times 10^{-6} \text{mSv/y}$</u>) の両者の合算値は、$3.1 \times 10^{-4} \text{mSv/y}$ であり、我が国の法令^{注)}に定める周辺監視区域外の実効線量限度 (1mSv/y) の約 0.03%であった。経路ごとの算出結果を表-1に示す。</p>																																																						
p.13	<p style="text-align: center;">表-1 実効線量の算出結果</p> <table border="1" data-bbox="150 805 1075 1332"> <thead> <tr> <th>経路</th> <th>実効線量 (mSv/y)</th> <th>周辺監視区域外の線量限度(1mSv/y)に対する割合(%)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射性雲からの外部被ばく</td> <td>9.3×10^{-5}</td> <td>9×10^{-3}</td> <td rowspan="2">最大線量地点：主排気筒南西方向 約500m</td> </tr> <tr> <td>吸入摂取による内部被ばく</td> <td>1.5×10^{-6}</td> <td>1×10^{-4}</td> </tr> <tr> <td>農・畜産物摂取による内部被ばく</td> <td>2.1×10^{-4}</td> <td>2×10^{-2}</td> <td>最大濃度地点：主排気筒南西方向 約1400m</td> </tr> <tr> <td>海産物摂取による内部被ばく</td> <td><u>7.0×10^{-6}</u></td> <td>7×10^{-4}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漁業・海浜利用による外部被ばく</td> <td>2.0×10^{-6}</td> <td>2×10^{-4}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3.1×10^{-4}</td> <td>3×10^{-2}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経路	実効線量 (mSv/y)	周辺監視区域外の線量限度(1mSv/y)に対する割合(%)	備考	放射性雲からの外部被ばく	9.3×10^{-5}	9×10^{-3}	最大線量地点：主排気筒南西方向 約500m	吸入摂取による内部被ばく	1.5×10^{-6}	1×10^{-4}	農・畜産物摂取による内部被ばく	2.1×10^{-4}	2×10^{-2}	最大濃度地点：主排気筒南西方向 約1400m	海産物摂取による内部被ばく	<u>7.0×10^{-6}</u>	7×10^{-4}		漁業・海浜利用による外部被ばく	2.0×10^{-6}	2×10^{-4}		合計	3.1×10^{-4}	3×10^{-2}		<p style="text-align: center;">表-1 実効線量の算出結果</p> <table border="1" data-bbox="1162 805 2128 1332"> <thead> <tr> <th>経路</th> <th>実効線量 (mSv/y)</th> <th>周辺監視区域外の線量限度(1mSv/y)に対する割合(%)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射性雲からの外部被ばく</td> <td>9.3×10^{-5}</td> <td>9×10^{-3}</td> <td rowspan="2">最大線量地点：主排気筒南西方向 約500m</td> </tr> <tr> <td>吸入摂取による内部被ばく</td> <td>1.5×10^{-6}</td> <td>1×10^{-4}</td> </tr> <tr> <td>農・畜産物摂取による内部被ばく</td> <td>2.1×10^{-4}</td> <td>2×10^{-2}</td> <td>最大濃度地点：主排気筒南西方向 約1400m</td> </tr> <tr> <td>海産物摂取による内部被ばく</td> <td><u>7.5×10^{-6}</u></td> <td>7×10^{-4}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漁業・海浜利用による外部被ばく</td> <td>2.0×10^{-6}</td> <td>2×10^{-4}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3.1×10^{-4}</td> <td>3×10^{-2}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経路	実効線量 (mSv/y)	周辺監視区域外の線量限度(1mSv/y)に対する割合(%)	備考	放射性雲からの外部被ばく	9.3×10^{-5}	9×10^{-3}	最大線量地点：主排気筒南西方向 約500m	吸入摂取による内部被ばく	1.5×10^{-6}	1×10^{-4}	農・畜産物摂取による内部被ばく	2.1×10^{-4}	2×10^{-2}	最大濃度地点：主排気筒南西方向 約1400m	海産物摂取による内部被ばく	<u>7.5×10^{-6}</u>	7×10^{-4}		漁業・海浜利用による外部被ばく	2.0×10^{-6}	2×10^{-4}		合計	3.1×10^{-4}	3×10^{-2}	
経路	実効線量 (mSv/y)	周辺監視区域外の線量限度(1mSv/y)に対する割合(%)	備考																																																					
放射性雲からの外部被ばく	9.3×10^{-5}	9×10^{-3}	最大線量地点：主排気筒南西方向 約500m																																																					
吸入摂取による内部被ばく	1.5×10^{-6}	1×10^{-4}																																																						
農・畜産物摂取による内部被ばく	2.1×10^{-4}	2×10^{-2}	最大濃度地点：主排気筒南西方向 約1400m																																																					
海産物摂取による内部被ばく	<u>7.0×10^{-6}</u>	7×10^{-4}																																																						
漁業・海浜利用による外部被ばく	2.0×10^{-6}	2×10^{-4}																																																						
合計	3.1×10^{-4}	3×10^{-2}																																																						
経路	実効線量 (mSv/y)	周辺監視区域外の線量限度(1mSv/y)に対する割合(%)	備考																																																					
放射性雲からの外部被ばく	9.3×10^{-5}	9×10^{-3}	最大線量地点：主排気筒南西方向 約500m																																																					
吸入摂取による内部被ばく	1.5×10^{-6}	1×10^{-4}																																																						
農・畜産物摂取による内部被ばく	2.1×10^{-4}	2×10^{-2}	最大濃度地点：主排気筒南西方向 約1400m																																																					
海産物摂取による内部被ばく	<u>7.5×10^{-6}</u>	7×10^{-4}																																																						
漁業・海浜利用による外部被ばく	2.0×10^{-6}	2×10^{-4}																																																						
合計	3.1×10^{-4}	3×10^{-2}																																																						